

❁ いわくに市議会だより

No. 67

令和5年8月発行

# シー See議会

紙面のQRコードをスマートフォンなどで読み込んでいただくと、より詳細な内容を御覧いただけます。

## 「向日葵と清流線」

美川小・中学校グラウンド（美川町）  
藤田陽子さん撮影（美川町集落支援員）

### 目次（主な内容）

4月臨時会及び6月定例会の報告	2	議案の賛否	9
表紙写真の公募	2	委員会審査報告	10
一般質問のYouTube配信開始のお知らせ	3	行政視察の報告	11
一般質問	4～7	9月定例会の予定	12
議員提出議案	7、8	編集後記	12
請願	8	誤植のお詫び	12



# 定例会の報告

## 4月臨時会の報告

4月27日(木)、岩国市議会臨時会が開催されました。

議案として、「令和5年度岩国市一般会計補正予算(第2号)」(電力ガス食料品等価格高騰重点支援給付金や子育て世帯生活支援特別給付金の支給に係る経費を計上)が上程され、全会一致で原案のとおり可決し、閉会しました。

## 6月定例会の報告

令和5年6月定例会が6月2日から6月27日までの26日間の会期で開催されました。定例会初日には、監査報告6件、報告11件(うち議決事件1件)、「岩国市税条例の一部を改正する条例」など9議案、請願1件からなる合計27の事件が上程され、1報告、2議案を可決後、残りの7議案及び請願を所管の常任委員会に付託しました。

一般質問は、6月13日から16日までの4日間で、23人の議員が登壇し、幅広い分野について活発な質問が行われました。全ての一般質問終了後、議案として「令和5年

度岩国市一般会計補正予算(第3号)」(エネルギー価格等高騰に係る対応策等の諸経費を計上)が途中上程され、所管の各常任委員会に付託しました。

付託した各議案等は、20日、21日に開催された各常任委員会において、審査が行われました。

最終日の27日、各常任委員会の委員長から審査報告があり、いずれの議案も原案のとおり可決されました。

また、請願「軽度・中等度難聴者等に対する補聴器の購入等に対する補助の対象を全ての年齢に拡大することを求める請願」を採択するとともに、執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求することに決しました。

続いて、議員提出議案として、「岩国市議会議員の請負の状況の報告の一覧の作成及び保存に関する条例」及び「岩国市に市民の生命と安全を守るためのシェルター設置を求める意見書」が提出され、いずれの議案も原案のとおり、可決されました。最後に、議員の派遣を可決し、閉会しました。

岩国市議会議長 桑原敏幸

# いわくに市議会だより 表紙写真を公募します！

市民の皆様から、より議会に興味を持ってもらうため、表紙写真の公募を始めます。

発行予定日(6月1日、8月15日、11月15日、2月15日)の季節にあった風景や行事の様子を撮影した写真の御応募をお待ちしております。

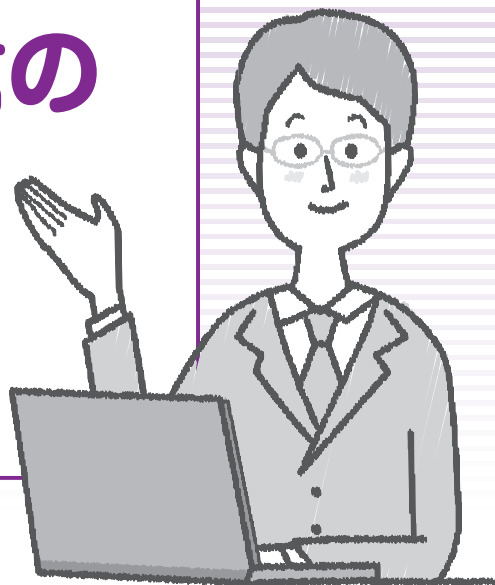
市民の方だけではなく、市内に通勤、通学している方も応募可能です。

詳しくはQRコードから公募要領を御覧いただくか、議会事務局までお問合せください。

議会事務局 議事課  
TEL 29-5193



# 一般質問 YouTube配信の (ユーチューブ) お知らせ



市民の皆様により、議会のことを知ってもらうための取組として、岩国市議会のYouTube(ユーチューブ)チャンネルを開設しました！

令和5年6月定例会から、各議員の一般質問の動画を見ていただけます。

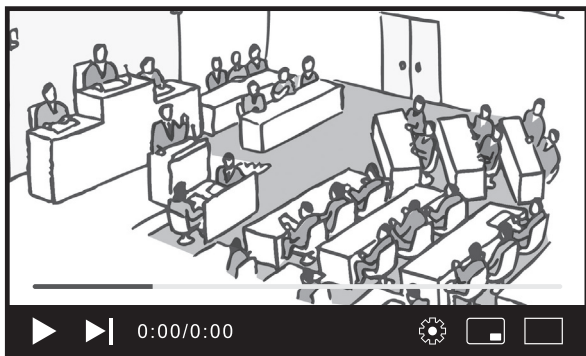
下記QRコードを読み込んでいただくと当チャンネルが表示されますので、チャンネル登録をよろしくお願いいたします！

(チャンネル開設から日が浅いため「岩国市議会」と検索しても検索結果に表示されない可能性があります)

また、次ページ以降の議員名の下にあるQRコードからは各議員の動画を見ることができますので、御活用ください。

## 御利用について

- 録画映像は、本会議終了後、おおむね2週間後に配信を開始します。御使用になるパソコン・接続環境によっては、中継を御覧いただけないこともありますので、あらかじめ御了承ください。
- この録画中継は岩国市議会の公式記録ではありません。会議の公式記録(会議録)は、会期が終了したおおむね3か月後から市立図書館またはホームページの会議録検索システムで閲覧できます。
- 配信映像のテロップに書かれている役職名等は収録時のものです。
- 会議における発言取消し及び発言の訂正があった場合は、編集して配信しています。
- 議会録画中継の著作権は岩国市に帰属し、本市議会が管理しています。配信している映像や内容を許可なく他のウェブサイトなどに転載しないでください。



岩国市議会  
YouTube  
(ユーチューブ)  
チャンネル



# 一般質問 市政を聞く

6月定例会では、23人の議員により、市政全般にわたる幅広い質問が行われました。

※議員名に隣接したQRコードから、一般質問の動画を御覧いただけます。

こちらから詳細な質問内容を御確認いただけます。



## 会派代表質問



中村 豊  
(公明党議員団)



**問** 人口減少対策における移住・定住の促進について

社会減対策として移住・定住の促進が考えられる。移住に関心を持っている方に本市に興味を持ってもらうことで相談や関係へとつながり、将来的な定住につながるべくと考えるが、本市の取組について問う。

**答** 本市への理解を深め、情報発信に努め、定住につなげていく

まずは本市のことを知ってもらいたいと考えており、東京や大阪などで移住フェアやセミナーを行っている。移住フェアの際には対面での相談を実施し、本市への理解をより深めてもらうよう対応している。アフターフォローで関係を維持できるように努めてもいる。今後においても市のホームページやSNS等で情報発信し、将来的な定住につなげていきたいと考えている。  
(産業振興部)

## 会派代表質問



長岡 辰久  
(日本共産党市議員団)



**問** 少子化対策のため子育て支援拡充を

山口県内で人口10万人超の6市のうち、人口減少率が一番大きいのは岩国市である。婚姻率は他市とほぼ同じにもかかわらず、出生率が低く、15歳以下の年少人口割合も低い。出生率2.95の子育て「奇跡の町」奈義町も30年前は出生率1.41であった。「箱物事業」を抑制し、財源を確保し、町民の暮らしを守る施策に変えた。小・中学校の教育教材費の無償化など、24もの施策が充実している。未だに放課後児童教室に79人も入れない岩国市と大きな差がある。日本では子育ては、家族の自己責任で、自助を基本に施策がつけられている。本来、子育ての受益者は、社会のはずである。未来への投資として社会全体が担う公助こそが望まれる。

**答** 少子化は未婚化、晩婚化が原因

本市議会では、平成28年3月22日に「沖縄県宜野湾市との姉妹都市縁組を求めめる決議」がなされている。一方、宜野湾市議会においても、姉妹都市縁組について前向きな話合いがなされていると聞いている。こうした中、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類変更を契機に、活動制限が撤廃され、世の中が大きく変化しつつある中、岩国錦帯橋空港を軸にした沖縄との結びつきが深まり、将来的に宜野湾市との民間交流が活発化することが期待されている。今後の姉妹都市提携について問う。

## 会派代表質問



片岡 勝則  
(憲政会)



**問** 沖縄県宜野湾市との姉妹都市縁組について

本市議会では、平成28年3月22日に「沖縄県宜野湾市との姉妹都市縁組を求めめる決議」がなされている。一方、宜野湾市議会においても、姉妹都市縁組について前向きな話合いがなされていると聞いている。こうした中、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類変更を契機に、活動制限が撤廃され、世の中が大きく変化しつつある中、岩国錦帯橋空港を軸にした沖縄との結びつきが深まり、将来的に宜野湾市との民間交流が活発化することが期待されている。今後の姉妹都市提携について問う。

**答** 市民交流を進めて、両市の足並みがそろって検討していく

先方の意向もあることから、その意向を適宜把握するとともに、市民の交流を進めつつ、両市の足並みがそろって検討していきたい。

## 会派代表質問



石本 崇  
(志政いわくに)



**問** 協定に基づき、改めて協議が必要ではないか

**答** 御指摘のとおり協議し、誠実な履行を求める

上海電力が事業主の美和町のメガソーラー事業は、本年5月末で全ての工事が終了。6月14日には県の林地開発確認検査を受け、県の検査に先立つ6月5日から報告もなく稼働が開始されており遺憾である。保守点検、維持管理は、実績のある会社に業務委託され、一方で近隣住民からの「本事業に起因する災害の発生」「水質の変化」「農業用水の不足」等の不安に対し、昨年5月に締結した環境保全に関する協定書を基に、6月15日に協議の場を設け、改めて協定内容の確認を行い、誠実な履行を求め、市長を含めた協議も検討する。今後地域住民の不安解消、地域の生活環境や自然環境保全のため、地域に寄り添った対応に努める。





山本 辰哉  
(同志会)



**問** 旭化成建材(株)岩国工場閉鎖に伴う、同社及び関連会社従業員の雇用支援と、約75%の収益がある工業用水道事業の展望について問う。

**答** 関係機関に雇用の支援をお願いするとともに市の会計年度任用職員としての雇用も前向きに検討する。工業用水道事業においては、今後の在り方を市長部局と協力して、一定の経営方針を出していきたい。



中村 恒友  
(市民の声をきく会)



**問** 岩国市図書館は、その成績において同人口規模の図書館で全国2位となり、中央図書館の開設を契機にさらなる発展をしている。この市民の財産を大いに活用すべき。子供読書の習慣性が大切。感性を磨き、創造力を培うブックスタートにも期待する。国の有形文化財でもある岩国練武場の管理保存に関し、その価値を損なわないよう対応を求める。



広中英明  
(市民クラブ・草の根)



**問** 平瀬ダムが本格運用することになれば、ダム群の洪水調節機能は約2倍になると聞く。今後は平成17年台風14号の総降水量(532ミリメートル)以下では南桑地区の浸水被害は防げると理解しているのか伺う。

**答** 南桑地点においては50センチメートルの水位低減効果が想定される。したがって、浸水被害の軽減に一定の効果があると思われる。



矢野 匡亮  
(志政いわくに)



**問** 新しい科学センターについて

**答** 潮風公園みなとオアシスゆう交流館内にあるミクロ生物館は、令和7年度完成予定の新しい科学センター(黒磯)に移転予定。現在の施設は、サテライトラボ等の活用も視野に入れ、慎重に検討する。「要望」関係部門と慎重に協議し、同意を得ながら進めることを要望した。

〔他質問〕本市デジタル改革について



石原 真  
(同志会)



**問** 市内の農家の8割以上が耕作面積1ヘクタール未満の小規模農家である。新規就農者や法人等には支援制度があるが、こうした個人農家には支援制度がない。営農を継続するためにも支援制度が必要ではないか。

**答** 小規模農家への支援は、地域農業を支える上でも大変重要な施策である。地域農業が衰退しないよう前向きに検討していきたい。



奥江 徳成  
(公明党議員団)



**問** 障害者手帳アプリと視覚障害者向け読み上げアプリの検討について問う。

**答** いずれも、障害者にとって、有効なサービスになると考えている。障害者手帳アプリについては、利用できる体制を整備していきたい。

視覚障害者向け読み上げアプリについては、活用できる体制の整備に向けて検討する。



藤重 建治  
(志政いわくに)



**問** 農業の担い手の減少及び高齢化が進む中、国の制度である多面的機能支払交付金を活用し、水路や農道の維持管理を行ってきたが、近い将来、共同作業が困難になることが予測される。このマンパワー不足解消の一助として総務省も推奨している、市職員の副業制度の創設を提案するがいかがか。

**答** 基準づくりに取り組んでいく。



桑田 勝弘  
(公明党議員団)



**問** 本市の市営住宅長寿命化計画には国の策定指針にある「省エネ性能」がない。国の求める省エネ性能は地球温暖化の流れを受け、高水準化傾向にある。結露やカビ等の相談も多い。省エネ評価不採用の見解を問う。

**答** 建設年度の古い団地は省エネ性能を特定できず、採用していない。重要性は認識しており、改善工事の様々な工法を調査・研究したい。



姫野 敦子  
(リベラル岩国)



**問** 建設常任委員会で亀岡市を視察した。プラスチックごみゼロを目指し、レジ袋は使わない条例の制定等を実施。世界中で待ったなしのマイクロプラスチック（5ミリ以下）の本市の対策・取組について問う。

**答** 本市では約9割がマイバッグを利用。今後もイベント等を通じて、適正利用、廃棄の啓発、清掃活動を推進したい。



小川 安士  
(日本共産党市議団)



**問** いすみ市は僅か4年で有機米組織を作り、2,500人の学校給食を全て有機栽培米にし、全国から注目され、山口でも講演会があった。

**答** 反当1万2,000円の補助金と、1俵2万〜2万3,000円の価格で買い上げ、子ども達に安心・安全のおいしい御飯を提供して、給食の食べ残しも減った。本市でも実現できないか。  
**答** 調査・研究したい。



松田 一志  
(日本共産党市議団)



**問** 空母艦載機E-2Dが空母離着陸訓練を行ったことを問う。

**答** 国は通常訓練であるとの回答。

**問** 美和町メガソーラー造成工事に伴う住民被害について問う。

**答** 事業者と締結した「環境保全等に関する協定書」で対応している。

**問** 旭化成建材(株)岩国工場の閉鎖について問う。  
**答** 影響を最小限にとどめたい。



野本 真由美  
(公明党議員団)



**問** コロナ禍に顕在化した「生理の貧困」問題は人としての尊厳や人権に関わる問題である。学校でも保健室に取りに行けない子や自分で準備できない子のために、トイレに常備する必要があると考えますが、見解を問う。

**答** トイレへの設置は、養護教諭等の意見を聞くことにより、メリット・デメリットを把握して検討したい。



川口 隆之  
(志政いわくに)



**問** サナテックシード社のゲノム編集トマトの苗を令和5年4月から、全国の小学校をはじめ、教育機関に無償配布すると発表があったが、岩国市としての対応を問う。

**答** 現段階でそのような申出は聞いていないが、通知文や情報を確認しながら関係者と協議し、適切に対応していく。



藤本 泰也  
(志政いわくに)



**問** 公共施設・廃校施設等の利活用について地域活用のほか、企業への売却や民泊、合宿所など、地域の活性化につながる様々な有効利用が考えられるが、今後の取組について問う。

**答** 今後、廃止された施設等の利活用には、民間事業者等のアイデアの活用など、様々な手法も取り入れながら、より有効な活用方法や廃校前の事前の検討をしていく。



瀬村 尚央  
(憲国会)



**問** 根拠に基づいた政策立案のためにEBPM推進係設置について問う。

**答** 宇部市も設置したことから他市事例を注視しつつ調査・研究していく。

**問** 錦川清流線再構築検討事業について玖北のまちづくりを鑑み本市の見解を問う。

**答** 今後のまちづくりを考えていく上で、清流線の利活用を視野に入れて検討していく。



丸茂 郁生  
(志政いわくに)



**問** 錦帯橋花火大会等の打切りに伴い新港の花火大会に見物客が集中することが予想される。市の対策を問う。

**答** 開催後に課題を地区の方々としっかり話していく。

**問** 本市を題材とした映画や全国番組は市民の誇りにつながる。誘致に向けた取組について問う。

**答** シティプロモーションとしての取組を積極的に推進していきたい。



**問** 共有林など民間同士での半世紀にわたる分取造林の契約については、どこかで市民に分かるように相談窓口をつくらないと整理できない社会問題に発展しかねないと考えます。既存の無料相談会などを活用して市民の相談に対応できないか。

**答** 山林に特化した無料相談会を開催することについては、今後の状況を見ながら検討していきたい。



武田 伊佐雄  
(憲政会)



**問** 室の木台団地の住民は岩国・大竹道路に反対していないが、山手トンネルと同じ地質帯の広島高速1号線の福木トンネルでの陥没を受け、不安を感じている。その中、国がボーリング調査を行い、工事の進め方に疑問を募らせている。徹底した合意形成に努めるべきではないのか問う。

**答** 地域住民に寄り添った対応を心がけ、信頼関係の構築に努めていく。



重岡 邦昭  
(市民クラブ・草の根)



**問** スマートフォン等で行政の各種手続が行えるデジタル化が進む一方で、ICT機器を活用できる人とできない人との情報格差が課題となつていく。この対策として、昨年度実施した高齢者向けスマホ教室は、今年度も継続すべきと思うがいかがか。

**答** 他部署とも連携し、事業を継続する上での補正予算化も視野に入れて考えていきたい。



広中 信夫  
(市政改革クラブ)



## 議員提出議案について

6月定例会において、令和5年6月27日に2件の議員提出議案が提出され、原案のとおり可決しました。

### 1 議員提出議案第3号 岩国市議会議員の請負の状況の報告の一覧の作成及び保存に関する条例



#### 《提案説明》 憲政会 片岡勝則議員

##### ○要旨

地方自治法の一部を改正する法律により、議会の議員に係る請負に関する規制の緩和がなされた。普通地方公共団体の議会の適正な運営の確保のための環境の整備を図る観点から、一会計年度当たり300万円以内の取引額であれば兼業禁止規定に違反しないこととなり、令和5年3月1日より施行されている。

以上の法律の一部改正を踏まえ、本市議会では、議員個人による請負の状況の透明性を確保し、もって議会の運営の公正及び事務の執行の適正を図るため、岩国市議会議員が岩国市に対して行う請負の状況を公表すること等、規定を整備するものである。



## 2 議員提出議案第4号 岩国市に市民の生命と安全を守るためのシェルター設置を求める意見書



### 《提案説明》 志政いわくに 石本崇議員

不透明感が高まる国際情勢の現状に鑑みると、ロシアのウクライナ侵攻及び核爆弾の使用の示唆、北朝鮮による相次ぐ弾道ミサイル発射、さらには中国と台湾の緊張関係の切迫化により、我が国への武力攻撃に波及する危険性が格段に増している。

「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律」が制定され、有事への対応が進められてはいるが、ミサイル攻撃からの被害を防ぐことができる地下施設は全国で1,600か所程度にとどまる。その上に、各国における核シェルターで収容できる国民の割合は、スイスやイスラエルの100%、米国の82%、ロシアの78%に対し、日本は0.02%程度にすぎないとされている。

かかる状況を踏まえ政府は、2022年12月に決定した安全保障関連の「国家安全保障戦略」、「国家防衛戦略」、「防衛力整備計画」において、シェルター整備の方針を明記しており、今後は、公共の核シェルター施設の整備も進められていくものと期待される。

岩国市は米軍及び海上自衛隊の航空基地が所在する自治体として、これまで基地の安定的な運用に協力し、国の安全保障政策へ多大な貢献をしている。市民の生命と安全が脅かされる事態が強く懸念される状況の中で、国におかれては、一刻も早く市民の生命と安全を守るためのシェルターを整備することを強く求めるものである。

## 請願について

6月定例会において、請願が提出され、教育民生常任委員会での審査結果を踏まえ、本会議（令和5年6月27日）において全会一致で採択するとともに、採択した請願を執行機関に送付し、その処理の経過及び結果の報告を請求することに決しました。

### 軽度・中等度難聴者等に対する補聴器の購入等に対する補助の対象を全ての年齢に拡大することを求める請願



#### 《請願者》 山口県保険医協会岩国玖珂郡支部

#### 《紹介説明》 志政いわくに 藤本泰也議員

難聴は、家族や友人とのコミュニケーションを困難にし、学業や就労に悪影響を及ぼすなど、円滑な日常生活を妨げる大きな要因となっているが、補聴器の購入には保険適用がなく全額自費となっているため、日本の補聴器普及率は欧米に比べて低いのが現状である。

現在、岩国市を含む多くの自治体では、補聴器の購入に要する費用の一部助成は、聴覚障害の身体障害者手帳の交付対象となる高度難聴以上の方及び身体障害者に該当しない軽度・中等度難聴児（18歳未満）に限定されており、残念ながら、18歳以上の軽度・中等度難聴者においては、このような支援制度がない状況にある。

しかしながら、国連の世界保健機関では、年齢にかかわらず、軽・中等度難聴からの補聴器の装用が推奨されており、欧米では、基本的に公的補助制度が整備されている。

加えて、国際アルツハイマー病会議において難聴は認知症の大きな危険因子と指摘されており、認知症予防の観点からも、聴覚補償を行うことが重要な対策となる。

よって、岩国市におかれては、聴覚障害者を支援し、補聴器の普及を図るため、軽度・中等度難聴者に対する補聴器の購入等に対する補助対象を全ての年齢に拡大されることを要望し、請願する。





# 6月定例会の議案等に対する各議員の賛否を掲載しています

## 【全会一致で可決された議案等】

### 【報告】

- ・岩国市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

### 【議案】

- ・岩国市固定資産評価員の選任につき、議会の同意を得るについて
- ・岩国市教育委員会の委員の任命につき、議会の同意を得るについて
- ・岩国市簡易水道条例の一部を改正する条例
- ・岩国市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・岩国市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・岩国市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例
- ・消防ポンプ自動車の買入れについて
- ・字の区域の変更について
- ・令和5年度岩国市一般会計補正予算（第3号）

### 【議員提出議案】

- ・岩国市議会議員の請負の状況の報告の一覧の作成及び保存に関する条例

### 【請願】

- ・軽度・中等度難聴者等に対する補聴器の購入等に対する補助の対象を全ての年齢に拡大することを求める請願

## 【本会議で賛否が分かれたり、退席があった議案】

(○=賛成、×=反対)

件名	議決結果	憲政会				志政いわくに				公明党議員団			共産党		市政改革		同志会		市民		声		リベ					
		植野正則	片岡勝則	貴船斉	桑原敏幸	瀬村尚央	武田伊佐雄	松川卓司	石本崇	川口隆之	藤重建治	藤本泰也	丸茂郁生	矢野匡亮	奥江徳成	桑田勝弘	中村豊	野本真由美	小川安士	長岡辰久	松田一志	広中信夫	細見正行	石原真	山本辰哉	重岡邦昭	広中英明	中村恒友
岩国市税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岩国市に市民の生命と安全を守るためのシェルター設置を求める意見書	可決	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長（桑原敏幸）は採決に加わりません。

※会派名の省略は次のとおり 共産党=日本共産党市議団、市政改革=市政改革クラブ、市民=市民クラブ・草の根、声=市民の声をさく会、リベ=リベラル岩国

# 委員会審査報告

経済常任委員会・教育民生常任委員会  
建設常任委員会・総務常任委員会

6月27日の本会議で、各常任委員会の委員長から審査報告がありました。主な審査内容と結果を要約して掲載しています。

## 経済

委員長 丸茂 郁生  
副委員長 小川 安士  
委員 石原 真

片岡 勝則・重岡 邦昭  
瀬村 尚央・中村 豊



議案第54号 岩国市地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例について

問 課税免除の要件は何か。

答 この条例は、地域の特性を活用して高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する相当の経済的効果が見込まれる施設に対して、その施設に課すべき固定資産税を3年度間に限り、課税免除することを規定している。山口県の基本計画に沿った効果が見込まれる事業で、食品・飲料製造業や医療関連産業などの方が工場等を設置するために取得した、合計1億円以上の価額の土地・家屋・構築物が課税免除の対象となる。

問 これまでの申請件数や課税免除の実績を伺う。

答 これまでに6件の申請があり、総額で約4,700万円の課税免除を適用している。

## 教育民生

委員長 矢野 匡亮  
副委員長 長岡 辰久  
委員 川口 隆之

桑原 敏幸・野本真由美  
細見 正行・松川 卓司



議案第57号 令和5年度岩国市一般会計補正予算(第3号)について

問 特別支援教育支援員配置事業の事業概要について問う。

答 県の加配教員の一部凍結などにより、本市の加配教員が30人減少したことを受け、特別支援教育支援員を15人増員し、指導体制の充実等を図ることを目的としたもの。

問 30人の減少に対して15人を増員する根拠について問う。

答 通常学級に10人、特別支援学級に5人の配置を検討しているため。軽度中等度難聴者等に対する補聴器の購入等に対する補助の対象を全ての年齢に拡大することを求める請願

問 実現した場合の補助の対象人数及び予算規模について問う。

答 補助対象は1万600人程度、予算規模は3,200万円程度になると思われる。(補助上限額を3万円と仮定)

結果 採択すべきものと決し、執行機関に処理の経過及び結果の報告を請求することを適当と認めるべきものと決した。

## 建設

委員長 山本 辰哉  
副委員長 広中 英明  
委員 植野 正則

奥江 徳成・中村 恒友  
姫野 敦子・藤本 泰也



議案第57号 令和5年度岩国市一般会計補正予算(第3号)所管分について

問 省エネ家電買替促進事業費補助金及び省エネリフォーム促進事業費補助金の周知方法、事業の開始時期について問う。

答 6月中にホームページや市民メールでお知らせし、7月に広報いわくにに記事を掲載する。8月には案内チラシを配布できるように準備を進めている。事業開始は7月1日からの予定。

問 本事業は購買者である市民のみならず、販売者である事業者にとっても有意義な制度であるが、事業者への周知方法について問う。

答 7月初旬までには岩国商工会議所、岩国西商工会、やましろ商工会を中心として広い範囲での説明会を予定している。

## 総務

委員長 武田伊佐雄  
副委員長 桑田 勝弘  
委員 石本 崇

貴船 斉・広中 信夫  
藤重 建治・松田 一志



議案第50号 岩国市税条例の一部を改正する条例について

問 このたびの条例改正は、国税である森林環境税の導入に伴い、個人の市民税の徴収など、規定を整備することだが、美和町のメガソーラー建設による環境破壊が問題になっている中、法人からの徴収もすべきではないか。

答 このたびの条例改正については、国において森林環境税及び森林環境譲与税が創設されたことに伴い、市税条例を改正するものであり、市として法人に課税するということは考えていない。

反対討論があつたため採決

結果 賛成多数で可決すべきものと決した。

(賛成4人・反対1人)

総務常任委員会に付託されたその他の案件は、全会一致で可決すべきものと決した。



## 「経済常任委員会」 行政視察報告【5月9日(火)～11日(木)】

本委員会では、令和5年5月9日から11日の3日間で、北海道恵庭市、美唄(びばい)市及び札幌市において行政視察を実施しました。

恵庭市では、農商工等連携推進ネットワークの取組として、農・商・工業が連携し、行政とともに進める地域の特産品開発等について学びました。

美唄市では、美唄市スマート農業加速化プロジェクトとして、作業の効率性の向上等を図ったICTを活用した農業の事例や、行政の支援策について学びました。

札幌市では、農業支援センター及び農業交流体験施設「サッポロさとらんど」の取組として、農業支援センターでは農業基盤整備の支援や地産地消の推進について、また、都市と農業共存の拠点である「サッポロさとらんど」では施設を回り、市民が農業や自然とふれあいながら憩い、楽しむことができる魅力的な緑地空間として整備されていました。各視察先で学んだ成果等を今後の委員会活動に生かしていきます。



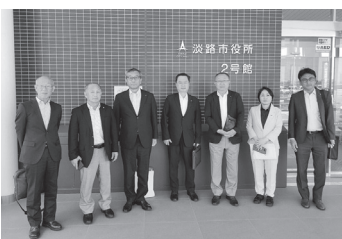
## 「教育民生常任委員会」 行政視察報告【5月9日(火)～11日(木)】

上記日程で岡山県勝田郡奈義町、兵庫県加古郡播磨町、兵庫県淡路市、岡山県加賀郡吉備中央町の4市町において行政視察を実施しました。

「部活動の地域移行」について、現在、国及び県から明確な方針が示されていないことも多く、本市においても先行きが不透明な状況ですが、積極的な検討及び具体的な取組を実施しなければなりません。

播磨町では、既に一部の部活動が地域に移行(休日、平日)しており、令和8年度から10年度には全ての部活動の地域移行を計画しておられます。また、地域移行に伴って発生する「会費の負担」「大会への参加」等の困難な課題に積極的な検討を行い、「指導員に対する謝礼」に関しては、移行期間中は行政が補助するなど、具体的な取組を決定し、地域移行を推進しておられました。

本委員会は、このたびの視察で得られた知見を今後の委員会活動に生かし、市政に反映していきます。



## 「建設常任委員会」 行政視察報告【5月9日(火)～11日(木)】

上記日程で京都府京都市、京都府亀岡市、大阪府富田林市の3市において行政視察を実施しました。

京都市では「残骨灰減容化の取組」について視察しました。本取組により、施設の収容量確保だけでなく、残骨灰中の貴金属の売却益により、施設の長寿命化が望めることが分かりました。

亀岡市では、「かめおかプラスチックごみゼロ宣言」について視察しました。本宣言は、プラスチックごみは流出させない、プラスチック製レジ袋の提供を禁止しマイバッグの携行を意識づける等、数々の具体的な取組を推進しています。

富田林市にある寺内町では、伝統的建造物群保存地区での空き家対策について視察しました。この場所では、文化や芸術、ものづくりに秀でた商売を目指す方を主な対象として空き家のマッチングを行っています。

これらの視察で得られた成果は、今後の委員会活動の参考としたいと考えています。



## 「総務常任委員会」 行政視察報告【5月10日(水)～12日(金)】

本委員会では、次のとおり行政視察を実施しました。

5/10 東京都町田市(高校生を含む市民参加型事業評価)

5/11 群馬県前橋市(デジタル技術を活用した地域交通の利便性向上)

5/12 東京都足立区(地域との協働による持続可能なまちづくり)

一例を挙げますと、前橋市の「マイタク」は、高齢者等のタクシー利用者がマイナンバーカードを車内の専用端末にかざすことで、自動的に運賃の助成を受けることができる事業です。ICTチップを活用した取組は市民からの評価が高く、マイナンバーカードの普及にもつながってまいりました。さらに、タクシー助成券の郵送・集計などの事務作業も削減できることから、交通事業者や市の職員に対しても有効な手法でした。

本市は比較的マイナンバーカードの普及率が高いこともあり、このような事例は大変参考になりました。その他の先進事例につきましても、今後の委員会活動に役立てていきます。



## 9月定例会のお知らせ(予定)

8月28日(月)	本会議(開会 議案等上程 説明 質疑 委員会付託)
9月6日(水)	本会議(一般質問)
7日(木)	本会議(一般質問)
8日(金)	本会議(一般質問)
11日(月)	本会議(一般質問) ※予備日
12日(火)	本会議(一般質問) ※予備日
13日(水)	経済常任委員会
14日(木)	教育民生常任委員会
15日(金)	建設常任委員会
19日(火)	総務常任委員会
25日(月)	本会議(委員長報告 質疑 討論 採決 閉会)

※会期日程は、変更になる場合があります。  
詳しくは議会事務局にお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)



## 議場内に、心が和む「生け花」 ～6月定例会～

6月定例会一般質問の間、「草月流岩国」の方々に生け花を展示していただきました。

花材

(ハナザクラ、アメリカンホーリー、アジサイ、ナルコラン、ギボウシ)

## 編集後記

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」に移行されました。これに伴い、本会議場では感染対策として設置していたアクリル板が撤去され、これまで抱えていた閉塞感までも取り除かれたような気持ちになりました。

さて、御案内のとおり、本定例会から本会議の様子をインターネット配信いたします。時間や場所にとらわれず御視聴いただくことで、開かれた議会を目指しております。紙面では伝えきれない一般質問の内容等を御確認いただければ幸いです。

委員長 武田伊佐雄

議会広報特別委員会

委員長 武田伊佐雄

副委員長 野本真由美

委員 川口隆之

長岡辰久

広中 信夫

広中 英明

松川 卓司

矢野 匡亮



## お詫び

6月1日発行の66号に誤植(意図しない箇所に「QR」の文言を記載)がございましたのでお詫びいたします。今後、同様の事象が生じないよう努めてまいります。

## 目の不自由な方へ

いわくに市議会だより See 議会の音声データを御希望される方は、議会事務局にお問い合わせください。(議会事務局 議事課 TEL 29-5193)

発行/岩国市議会 〒740-8585 山口県岩国市今津町一丁目14番51号 TEL(0827)29-5190 FAX(0827)21-1001  
編集/議会広報特別委員会 印刷/フジ美術印刷株式会社 <https://iwakunishigikai.jp>



古紙パルプ配合率  
70%再生紙を使用

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

いわくに市議会だより 令和5年(2023年)8月15日号 12